

羅針盤-祝入学号-

COMPASS

KANSAI GAIDAI KYOSHOKU JOURNAL

第 130 号 2019.4.27 (土) 発行

教職をめざす学生・卒業生のために

関西外国語大学
教職教育センター



お祝いの言葉「入学・進級おめでとう」

教職にかかわる先生方より、みなさんへお言葉をいただきました。

ご入学、ご進級、おめでとうございます！

短期大学部 教授 明石一朗

新緑まぶしい春のキャンパスに皆さんの笑顔が広がっています。

新しい仲間が夢と希望に胸ふくらませて入学してきました。そして、進級したみなさんは、新入生の姿に数年前の自分を重ね、気持ちを一層引き締め高めているのではないのでしょうか。

本学は 70 余年の歩みの中で、語学力と豊かな人間力の向上を軸に、変化する時代と社会の要請に応える国際人の育成をめざして発展してきました。

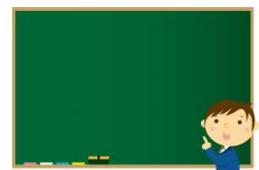
室町時代の能役者である世阿弥は、自著の『風姿花伝』の中で「初心忘れるべからず」という言葉を記しています。

教員をめざすみなさんは、新学期を迎えるにあたり、「日々初心」の気持ちで学業に励み、多くの仲間と共に学びを深め、教員採用試験の合格をめざして努力を積み重ねてください！

最後に、次の言葉を贈ります。

「夢ある人に目標あり、目標ある人に計画あり、計画ある人に実行あり、実行ある人に成果あり、成果ある人に幸せあり、幸せある人にロマンあり、ロマンある人に夢がある。」

(内山敏彦 氏 リゾートトラスト専務・総料理長)



多様化、多文化の社会を生きるみなさんへ

外国語学部 教授 梶田 純子

新しい時代に向かい、皆が希望を持ち、教職に就くべく、頑張っておられることと思います。

関西外大の学生さんは、キャンパス内外での豊富な国際交流経験があることと思います。それは他大学の方より、ずっとアドバンテージがあると思っております。

今、日本は、新たな国際化の波がやってきました。当然、日本の学校にも多国籍、外国にルーツがある児童・生徒が少なからずいることと思います。またさらに増えてくることでしょう。このような多様化していく社会に適応する児童・生徒を偏見なく、また共存していく社会を育てていってください。

外大生なら、それができると思います。まだまだ外国籍、外国にルーツのある児童・生徒の未就学が数多くいるとも言われています。学校が楽しい、みんなで助け合えていくことを教えてあげてください。

皆さんならできると信じています。是非、思い切って、悔いのない学生生活と実習へ向けて、頑張ってください。



安心に支えられ、学びつづける

英語キャリア学部 教授 塚田泰彦

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。学年が一つ上になった在学生の皆さんも、新年度がはじまり意欲をリセットして希望を新たにしていることと思います。

「教職への強い希望」に支えられて本学での学びに専念し、期待される教師へと日々着実に歩んでいる皆さんが、情報が溢れる手厚い学習システムに取り込まれてしまい、自分を見失うことがないように願っています。

効果的に授業を行う教師の特徴には、「すべての生徒に安心感を与えること」や「生徒が望ましい行動から逸脱したときに公平で一貫した対応をすること」「あまり支配的にならないこと」などがあげられることがありますが、こうした一定の安心感に教師自身が支えられていることが前提です。焦らず、信念をもって、「学ぶ」ということを広く豊かにまた深く受けとめる姿勢を身につけることが大切ではないでしょうか。

Increase and Keep your Willpower!

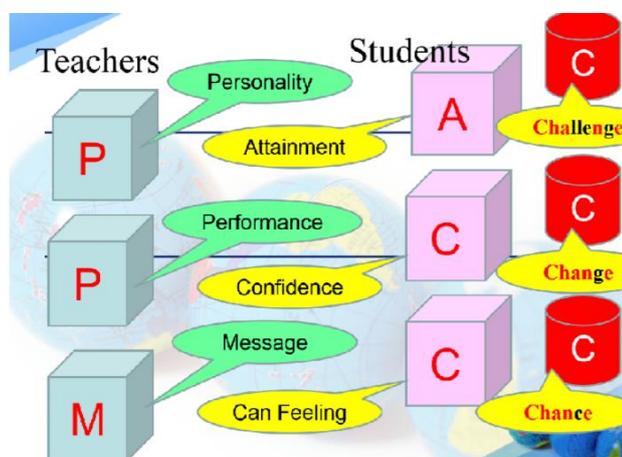
“Must” → “Will” → “Want” for everything in your school life

現役合格をめざし、「教諭」で教師のスタートを！

英語国際学部 教授 西村孝彦

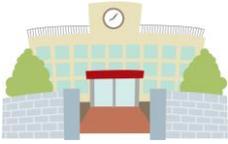
今年大阪でサミット・ラグビー世界選手権、2020年東京オリンピックが開催され、2025年には大阪万博が開催されます。英語教育への風が追い風となって吹いており、各都道府県が英語教育改革・改善に積極的に取り組もうと意欲を燃やし、またこれからの英語教育を担う人材育成に取り組む姿勢を強く示しています。東京都が中学校・高等学校の英語教員（教諭）採用3年目に全員毎年200人規模で海外の大学でTESOL(Teaching English to the Speaker of other language)を学ぶ研修を実施しています。その一つであり、また関西外国語大学提携校でもあるAustralia: University of Queenslandで教育学部のTESOL講座に参加してきました。文部科学省も日本の英語教育にTESOLを導入していく人材育成をめざしています。中学校・高等学校で英語授業を英語で行うことを基本とし、英語教員の英語力を今後公表していこうという動きになっています。

英語教員になるために、これからみなさんは自分の英語力を今できるかぎり大学在学中に磨いておくことが大切であると思います。そのうえで自分のWillpowerを強固にし、何事にも“I must do it.”ではなく“I will do it.”さらに“I want to do it.”という心が伴ってくれば、自分自身のための大きな成果がGetできると確信します。教員（教諭）になるのに今がチャンスです。Now, get the chance! みなさん現役合格をめざしましょう。年昨年度の教員採用試験は関西外大で現役合格者数が過去最高という結果になりました。特に中学校、高等学校の英語教員の現役合格者数は昨年の2倍となりました。教師のスタートを切るためにはまず教員採用試験に合格しなければなりません。夜スペ・サイスペ・サマスペ等に参加し、現役合格をめざす仲間が支えあい、教諭になる感動をみんなでGetしましょう。



You should challenge anytime with positive thinking and for your challenge with your flexibility you should change your mind and take actions. Those actions lead to get a chance. To a teacher, it is necessary to make much of both teachers' personality and students' personality. It is also effective for teacher to keep the power of Natural Performance and timely messages.

As a university students, in your university life, a little achievement leads to a little confidence and can feeling. What is the most important thing is to step forward with your willpower. Go for it!!



人生は出会い

短期大学部 教授 藤林富郎

ご入学、おめでとうございます！

皆さんが、関西外大及び短大と出会い、青春時代の成長の舞台に選ばれたことを、心より嬉しく思います。さらに、教職を選ぼうとしておられることを、重ねて嬉しく思います。その出会いが、「最高！」になるように、心より大きなエールを送りたいと思います。私もかつて同様の選択をしました。

「人生は、『出会い』がすべてを決める」と、つくづく思います。その出会いを、「選ぶこと」が、生きることではないでしょうか？もちろん、「偶然の出会い」や「必然の出会い」といった、自分で選べない出会いも、人生を変えることがあります。運命とか、宿命、とも呼ばれます。自分が選ぶ出会い、と、自分が選べない出会い、その集積が、人生。

そして、やはり「選ぶこと」これは人生のキーワードでは、ないでしょうか？毎日の生活で、その一瞬、一瞬に、どう行動するか、選べますね。その選択は、毎日の幸福度、満足度を、決定します。

職業を選び、それを手に入れるために努力することを選ぶ。良い選択ができなかったときは、「選びなおす」”the second chance”にかける、これも、人生ですね。

「友達を選ぶ」とか、「環境を変える」とか、どれも、選択の問題で、その選び方で、人生が変わります。「良い選択ができる人になる」そして、「友として選ばれる」「教員として選ばれる」人になる、あるいは、「パートナーとして選ばれる」人になる。人生の神髄ではないでしょうか。

今日から、今から、「自分で選ぶ」生き方、そして、その結果、「選ばれる」生き方を始めませんか？
精一杯、応援しています！



教職をめざすみなさんへ

大リーグ・マリナーズのイチロー外野手が3月21日、アスレチックス戦後に現役引退を発表しました。ソフトバンクホークス会長の王貞治さんがそのコメントの中で「一人の人間の人生がどれだけ多くの人に感動を与えたか。これからも語り継がれるだろう。」と、イチローの生き方が多くの人の人生に影響を与えたことを述べています。

先生をめざしているみなさんに、「先生になろうとしたきっかけは？」と尋ねると、多くの人が“恩師との出会い”を語ってくれます。そうなんです。学校の先生もイチローと同様に多くの子どもの人生に影響を与えているのです。しかも。指導者として直接関わっているのです。23歳の新任教員が40人の担任を40年間続ければ1600人の人生に関わることになります。実際にはクラブ活動等担任以外のかかわりもありますから+αされるでしょう。まさしく人の人生に直接関わる責任の重い大変やりがいのある仕事です。

そのような意味で、今、みなさんは職業を選ぶというより、生き方を選ぶと言っても過言ではないと思います。信頼できる先生とはどんな先生でしょうか。「勉強をわかるまでとことんつきあってくれた。」「なかまはずれになつとき、最後まで味方になってくれた。」「自分をコントロールできなくなった時、真剣に叱ってくれた。」等、子どもの持ち味によってその出会いの数だけ先生像があることでしょう。ただ、共通しているのは、「自分のことを本気で思ってくれている。」ということです。

みなさんには、子どもと本気で向き合う覚悟はありますか。また、先生になって子どもたちと何をしたいのでしょうか。覚悟と目的意識をしっかり持つことが、夢への第一歩です。心配はいりません。夢への思いをエネルギーに、仲間といっしょにそれぞれの持ち味にさらに磨きをかけることが、魅力ある先生への道です。願いが叶う生き方をしましょう。

あなたにしか救えない子どもは必ずいます！

